

2021年9月期 決算短信 (2021年3月9日～2021年9月8日)

2021年10月20日

ファンド名 SMDAM 東証REIT指数上場投信 上場取引所 東証
 コード番号 1398 売買単位 10口
 連動対象指標 東証REIT指数
 主要投資資産 投資証券
 管理会社 三井住友DSアセットマネジメント株式会社
 URL <https://www.smd-am.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猿田 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 商品管理部長 (氏名) 熊倉 健大 (TEL)03(6205)1652
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月2日 分配金支払開始日 2021年10月15日

I ファンドの運用状況

1. 2021年9月期の運用状況 (2021年3月9日～2021年9月8日)

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	114,133	98.7	1,554	1.3	115,688	100.0
2021年3月期	101,905	98.6	1,499	1.4	103,405	100.0

(2) 設定・交換実績

	前特定期間末 発行済口数 (①)	設定口数 (②)	交換口数 (③)	当特定期間末 発行済口数(①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2021年9月期	53,618	14,348	14,977	52,989
2021年3月期	41,391	16,951	4,724	53,618

(3) 基準価額

	総資産(①)	負債(②)	純資産(③) (①-②)	100口当たり基準価額 (③/当特定期間末発行済口数) × 100
	百万円	百万円	百万円	円
2021年9月期	116,967	1,279	115,688	218,323
2021年3月期	104,684	1,279	103,405	192,855

(4) 分配金

	100口当たり分配金
	円
2021年9月期	3,180
2021年3月期	3,280

2. 会計方針の変更

- (1) 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 (2) (1) 以外の会計方針の変更 : 有・無

II 財務諸表等

SMDAM 東証REIT指数上場投信

1 【財務諸表】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	特定12期 (2021年3月8日現在)	特定13期 (2021年9月8日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	299,169,096	851,134,878
投資証券	101,905,885,610	114,133,697,650
未収入金	1,296,501,251	747,206,503
未収配当金	1,170,466,878	1,195,683,876
前払金	1,543,000	5,642,000
差入委託証拠金	10,865,500	33,725,000
流動資産合計	104,684,431,335	116,967,089,907
資産合計	104,684,431,335	116,967,089,907
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,634,300	5,720,100
未払金	61,764,027	68,508,499
未払収益分配金	1,152,789,150	1,128,672,771
未払受託者報酬	9,833,577	12,006,490
未払委託者報酬	44,251,087	54,029,158
未払利息	719	2,111
その他未払費用	8,901,294	10,061,706
流動負債合計	1,279,174,154	1,279,000,835
負債合計	1,279,174,154	1,279,000,835
純資産の部		
元本等		
元本	99,354,339,300	98,189,232,196
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	4,050,917,881	17,498,856,876
元本等合計	103,405,257,181	115,688,089,072
純資産合計	103,405,257,181	115,688,089,072
負債純資産合計	104,684,431,335	116,967,089,907

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	特定12期 自 2020年9月9日 至 2021年3月8日	特定13期 自 2021年3月9日 至 2021年9月8日
営業収益		
受取配当金	1,766,348,853	1,831,276,626
有価証券売買等損益	8,972,425,466	12,897,261,403
派生商品取引等損益	91,205,600	116,196,500
その他収益	36,543,852	386,609
営業収益合計	10,866,523,771	14,845,121,138
営業費用		
支払利息	184,855	266,722
受託者報酬	18,186,498	23,132,834
委託者報酬	81,839,205	104,097,675
その他費用	17,251,246	19,420,116
営業費用合計	117,461,804	146,917,347
営業利益又は営業損失(△)	10,749,061,967	14,698,203,791
経常利益又は経常損失(△)	10,749,061,967	14,698,203,791
当期純利益又は当期純損失(△)	10,749,061,967	14,698,203,791
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	△4,705,206,284	4,050,917,881
剰余金増加額又は欠損金減少額	890,016,681	4,007,286,431
当期一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	315,998,764	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	574,017,917	4,007,286,431
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,196,959,454	3,574,423,436
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	21,444,387	3,574,423,436
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,175,515,067	-
分配金	1,685,995,029	1,683,127,791
期末剰余金又は期末欠損金(△)	4,050,917,881	17,498,856,876

(3) 【注記表】

(重要な会計方針の注記)

項 目	特定13期	
	自 2021年3月9日	至 2021年9月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。	
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場によっております。	
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金の計上基準 受取配当金は原則として、配当落ち日において、確定配当金額または予想配当金額を計上しております。なお、配当金額が未確定の場合は、入金日基準で計上しております。	

(重要な会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りについて、翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクがある項目を識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

項 目	特定12期 (2021年3月8日現在)		特定13期 (2021年9月8日現在)	
	1. 当特定期間の末日における受益権の総数	53,618,100 口		52,989,332 口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額	1,928.55 円	1口当たり純資産額	2,183.23 円
	(100口当たりの純資産額)	192,855 円)	(100口当たりの純資産額)	218,323 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項 目	特定12期 自 2020年9月9日 至 2021年3月8日	特定13期 自 2021年3月9日 至 2021年9月8日
分配金の計算過程	<p>(自 2020年9月9日 至 2020年12月8日)</p> <p>第23計算期間末における費用控除後の配当等収益(534,099,601円)および分配準備積立金(814,775円)より、分配対象収益は534,914,376円(100口当たり1,133.61円)であり、うち533,205,879円(100口当たり1,130円)を分配金額としております。</p> <p>(自 2020年12月9日 至 2021年3月8日)</p> <p>第24計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,151,331,300円)および分配準備積立金(1,708,497円)より、分配対象収益は1,153,039,797円(100口当たり2,150.46円)であり、うち1,152,789,150円(100口当たり2,150円)を分配金額としております。</p>	<p>(自 2021年3月9日 至 2021年6月8日)</p> <p>第25計算期間末における費用控除後の配当等収益(557,215,771円)および分配準備積立金(250,647円)より、分配対象収益は557,466,418円(100口当たり1,055.69円)であり、うち554,455,020円(100口当たり1,050円)を分配金額としております。</p> <p>(自 2021年6月9日 至 2021年9月8日)</p> <p>第26計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,127,530,117円)および分配準備積立金(3,011,398円)より、分配対象収益は1,130,541,515円(100口当たり2,133.52円)であり、うち1,128,672,771円(100口当たり2,130円)を分配金額としております。</p>

(金融商品に関する注記)

I. 金融商品の状況に関する事項

項目	<p style="text-align: center;">特定13期 自 2021年3月9日 至 2021年9月8日</p>
1. 金融商品に対する取組方針	<p>当ファンドは「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、当ファンドの信託約款に従い、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。</p>
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>1) 有価証券 当ファンドが投資対象とする有価証券は、信託約款で定められており、当特定期間については、投資証券を組み入れております。</p> <p>2) デリバティブ取引 当ファンドが行うことのできるデリバティブ取引は、信託約款に基づいております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資すること、ならびに価格変動リスクおよび為替変動リスクの回避を目的としております。当特定期間については、先物取引を行っております。</p> <p>3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク 有価証券およびデリバティブ取引等 当ファンドが保有する金融商品にかかる主なリスクとしては、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクがあります。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>リスク管理の実効性を高め、またコンプライアンスの徹底を図るために運用部門から独立した組織を設置し、投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる、信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングおよびファンドの運用パフォーマンスの測定・分析・評価についての確認等を行っています。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価、リスク管理およびコンプライアンスに関する会議をそれぞれ設け、報告が義務づけられています。</p> <p>また、とりわけ、市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクの管理体制については、各種リスクごとに管理項目、測定項目、上下限值、管理レベルおよび頻度等を定めて当該リスクの管理を実施しております。当該リスクを管理する部署では、原則として速やかに是正・修正等を行う必要がある状況の場合は、関連する運用部署に是正勧告あるいは報告が行われ、当該関連運用部署は、必要な対処の実施あるいは対処方針の決定を行います。その後、当該関連運用部署の対処の実施や対処方針の決定等に関し、必要に応じてリスク管理を行う部署が当該部署の担当役員、当該関連運用部署の担当役員およびリスク管理会議へ報告を行う体制となっております。</p> <p>なお、他の運用会社が設定・運用を行うファンド（外部ファンド）を組入れる場合には、当該外部ファンドの運用会社にかかる経営の健全性、運用もしくはリスク管理の適切性も含め、外部ファンドの適格性等に関して、運用委託先を管理する会議にて、定期的に審議する体制となっております。加えて、外部ファンドの組入れは、原則として、運用実績の優位性、運用会社の信用力・運用体制・資産管理体制の状況を確認の上選定するものとし、また、定性・定量面における評価を継続的に実施し、投資対象としての適格性を判断しております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には委託者としての忠実義務に基づき合理的理由をもって認める評価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスクを示すものではありません。</p>

II. 金融商品の時価等に関する事項

項目	特定13期 (2021年9月8日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券(投資証券) 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引) デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

特定12期(自2020年9月9日至2021年3月8日)

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資証券	8,907,032,493円
合計	8,907,032,493円

特定13期(自2021年3月9日至2021年9月8日)

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資証券	59,496,010円
合計	59,496,010円

(デリバティブ取引に関する注記)
 特定12期(2021年3月8日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	REIT指数先物取引				
	買建	783,494,300	-	781,860,000	△1,634,300
	東証REIT指数先物	783,494,300	-	781,860,000	△1,634,300
合計		783,494,300	-	781,860,000	△1,634,300

特定13期(2021年9月8日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	REIT指数先物取引				
	買建	762,757,600	-	757,037,500	△5,720,100
	東証REIT指数先物	762,757,600	-	757,037,500	△5,720,100
合計		762,757,600	-	757,037,500	△5,720,100

(注) 1. 時価の算定方法

(1) REIT指数先物取引の時価の算定方法について

1) 原則として特定期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、特定期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

2) REIT指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

特定13期 自 2021年3月9日 至 2021年9月8日	
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

項目	特定12期 (2021年3月8日現在)	特定13期 (2021年9月8日現在)
期首元本額	76,696,946,717円	99,354,339,300円
期中追加設定元本額	31,411,685,400円	26,587,029,300円
期中一部交換元本額	8,754,292,817円	27,752,136,404円